



▶ Polycom® CX300 デスクトップ
電話機ユーザガイド

Microsoft® Office Communications Server 2007 R2 Edition

商標情報

POLYCOM®、Polycom の " 三角形 " のロゴ、Polycom 製品に関連付けられている名前とマークは、Polycom, Inc. の商標またはサービスマーク、あるいはその両方であり、米国およびその他の国における登録商標またはコモンロー上のマーク、あるいはその両方です。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。Polycom の書面による許可がある場合を除いて、このドキュメントのいかなる部分も個人的使用以外の目的で複製または送信することはその形式および方法を問わず禁止されています。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows Server、Windows Vista、および Windows XP は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

特許情報

付随製品は、アメリカおよび諸外国の 1 つ以上の特許権によって保護されているか、Polycom, Inc. またはその 1 つ以上のライセンサによる特許申請中として保護されています。

免責事項

ある国、州、地域では暗黙の保証の除外または制限、消費者に供給された特定の製品における偶発的、必然的な損害に対する制限、人身障害に対する責任の制限を許可しないところがあります。よって、上記の制限または排除が限定されることがあります。暗黙の保証すべてが排除されない場合は、適用可能な明記された保証の期間に限定されます。これにより、地域の法律に応じて特定の法的権利が付与されます。

著作権情報

本製品に含まれるソフトウェアの著作権は、Polycom またはその 1 つ以上のライセンサによって所有されている可能性があります。

Copyright © 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Copyright © 2009 Polycom, Inc

本ソフトウェアは、市販性、特定目的の適合性、第三者の権利を侵害していないことなどを含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）明示または暗示の保証をすることなく「現状のまま」提供されます。作成者または著作権所有者は、契約、不法行為、またはソフトウェアまたはソフトウェアの使用あるいはその他の取引から発生したいかなるクレーム、損害、その他の障害にも責任を負わないものとします。

© 2009 Polycom, Inc. All rights reserved.

Polycom, Inc.
4750 Willow Road
Pleasanton, CA 94588-2708
USA

この文書のいかなる部分も、Polycom, Inc. の明白な許可なしに、いかなる目的でも、電氣的または機械的などのいかなる手段でも、複製または転送することを禁じます。法律の下においては、他の言語への翻訳および他のフォーマットへの変換も複製と見なされます。

当事者間で、Polycom, Inc. は、この製品に含まれるソフトウェアに関するすべてのタイトル、所有権、占有権を保有します。このソフトウェアは、アメリカの著作権および国際条約規定によって保護されています。このため、このソフトウェアは、他の著作権がある物件（例：本または録音物）と同様に扱う必要があります。

このマニュアルに含まれる情報の正確性を期すために、あらゆる努力を傾注しました。Polycom, Inc. は印刷エラーまたは事務的エラーには責任を一切負いません。この文書中の情報は、予告なしに変更することがあります。

このガイドについて

Polycom CX300 デスクトップ電話機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデスクトップ電話機は、従来の製品にはない統合コミュニケーション機能の新しい時代を切り開きます。Microsoft Office Communicator 2007 R2 を実行するコンピュータに Polycom CX300 デスクトップ電話機を接続することによって、IP ネットワーク接続経由で通話の発信と受信が可能になります。

このユーザガイドには、このデスクトップ電話機を使用するために必要な詳しい情報が記載されています。Polycom CX300 電話機を設定するためのネットワークの準備ができていないこと、Microsoft Office Communications Server 2007 R2 が使用可能であること、およびネットワークが正しく設定されていることをシステム管理者に確認します。さらに、Polycom CX300 電話機の設定と使用前に、このガイドの「[部品一覧](#)」および「[安全に関する通知](#)」のセクションもお読みください。この情報は、<http://www.polycom.com/support/voicedocumentation/> にも記載されています。

目次

このガイドについて	iii
1 電話機能入門	1-1
部品一覧	1-2
電話機の組み立て	1-3
ハンドセットとヘッドセット (オプション) の接続	1-3
電話機とコンピュータの接続	1-4
電話機の機能	1-5
電話機を使用する前に	1-7
電話機の設置場所	1-7
Microsoft Office Communicator 2007 R2 との接続	1-7
Polycom CX300 デスクトップ電話機で使用する Microsoft Office Communicator 2007 R2 の設定	1-7
電話機の設定の変更	1-8
使用上のガイドライン	1-10
2 電話機の基本機能の使用	2-1
通話の発信	2-2
通話の応答	2-4
通話の終了	2-5
リダイヤル	2-5
マイクのミュート	2-6
音量の調整	2-6
通話の保留	2-6
通話の着信転送	2-7
ボイスメールの使用	2-7
Microsoft Office Live Meeting での電話機の使用	2-8
言語の変更	2-8
電話機の再起動	2-9

3 電話機のトラブルシューティング3-1

電源と起動	3-1
制御、通話の発信と受信	3-2
システムへのアクセス	3-3
音声	3-3
Microsoft Office Communicator 2007 R2	3-4

安全に関する通知 安全に関する通知 -1

索引 索引 -1

電話機能入門

この章では、Polycom CX300 電話機で最良のパフォーマンスを得るための基本的なインストール手順と情報を説明します。

Polycom CX300 には、Microsoft Office Communicator 2007 R2 の高度な通信機能にアクセスするための柔軟で効率的な方法が用意されています。

Polycom CX300 では、次の高機能がサポートされています。

- 快適な音声通話を提供する高品位音声
- 便利な通話制御ボタン
- ドライバが不要なプラグアンドプレイインストール

この章には次の項目が含まれます。

- [部品一覧](#)
- [電話機の組み立て](#)
- [電話機の機能](#)
- [電話機を使用する前に](#)

電話機の基本的な機能については、[2-1](#) ページの「[電話機の基本機能の使用](#)」を参照してください。

新しい電話機について追加の情報またはサポートが必要な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

メモ

Polycom CX300 電話機をコンピュータに接続する前に、Microsoft Office Communicator 2007 R2 (バージョン 3.5.6907.37) をコンピュータにインストールして実行しておく必要があります。Microsoft Office Communicator 2007 R2 (バージョン 3.5.6907.37) がコンピュータにインストールされていない場合は、電話機のディスプレイに "サインインしてください" というメッセージが表示されます。この状態では、電話機は音声デバイスとしてしか使用できず、通話を発信することはできません。

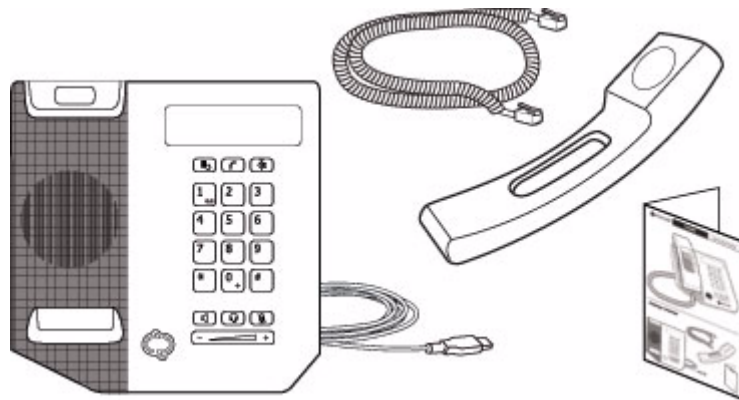
また、コンピュータのオペレーティングシステムは、Windows XP Service Pack 3 または Windows Vista Service Pack 1 でなければなりません。

Polycom CX300 電話機は、Microsoft Office Live Meeting にも対応した音声デバイスです。

Polycom CX300 電話機を使用するのに、その他のデバイスドライバやソフトウェアは必要ありません。

部品一覧

Polycom CX300 のパッケージには次のコンポーネントが含まれています。



1. Polycom CX300 デスクトップ電話機 (USB ケーブル付属)
2. ハンドセット
3. ハンドセットコード
4. 『クイック スタート ガイド』と登録カード

インストールの前にこのリストをチェックして、各アイテムを受け取ったことを確認してください。含まれていないアイテムがある場合はシステム管理者にお問い合わせください。

電話機の組み立て

この項では、Polycom CX300 デスクトップ電話機の組み立て方法について説明します。

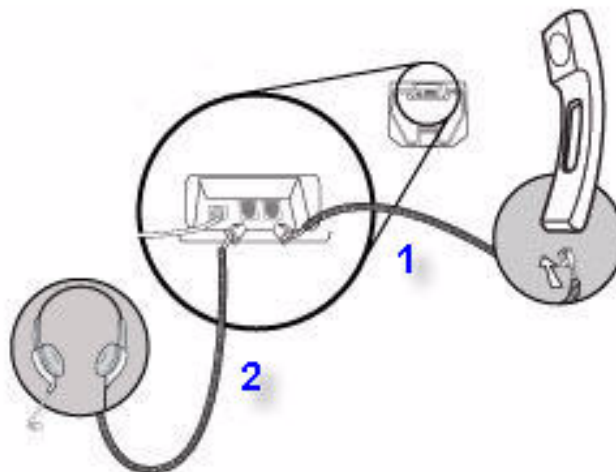
- ハンドセットとヘッドセット (オプション) を接続する
- Polycom CX300 とコンピュータの接続

デスクトップ電話機をすでに組み立ててコンピュータに接続している場合は、1-5 ページの「電話機の機能」に進んでください。

ハンドセットとヘッドセット (オプション) の接続

ハンドセットとオプションのヘッドセットを接続するには、次の操作を行います。

1. ハンドセットコードの片端をハンドセット器に接続し、コードの他方の端を電話機の後ろのハンドセットジャックに接続します。
2. (オプション)ヘッドセットを電話機裏側のヘッドセットジャックに接続します。



サポートされるヘッドセットのリストは、Polycom のサポート web サイトの「Voice」セクション (<http://www.polycom.com/support/voicedocumentation/>) にあります。

メモ

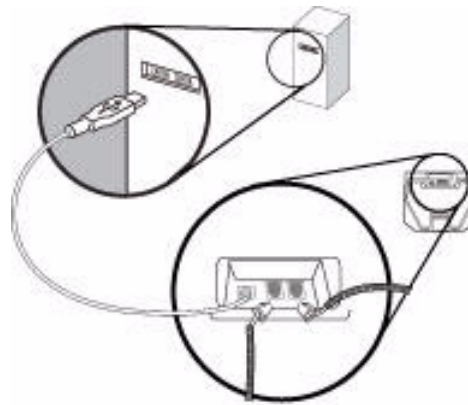
ユーザーが、頻繁にヘッドセットを電話機に取り付けたり取り外したりするような静電気の多い環境でヘッドセットを配置した場合、電話機が ESD (静電放電) によって損傷する場合があります。

環境における過剰な静電気の蓄積を回避するため、予防策をとる必要があります。これには、湿度の制御や、電話付近の合成物質の除外などが含まれます。作業場のカーペットに静電気防止用スプレーを吹きかけることにより、静電気の蓄積レベルを低減することができます。

電話機とコンピュータの接続

Polycom CX300 デスクトップ電話機をコンピュータに接続するには、次の手順に従います。

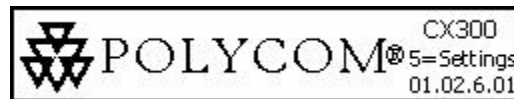
- USB ケーブル (電話機本体に付属) をコンピュータの USB 1.1 または 2.0 ポートに接続します。



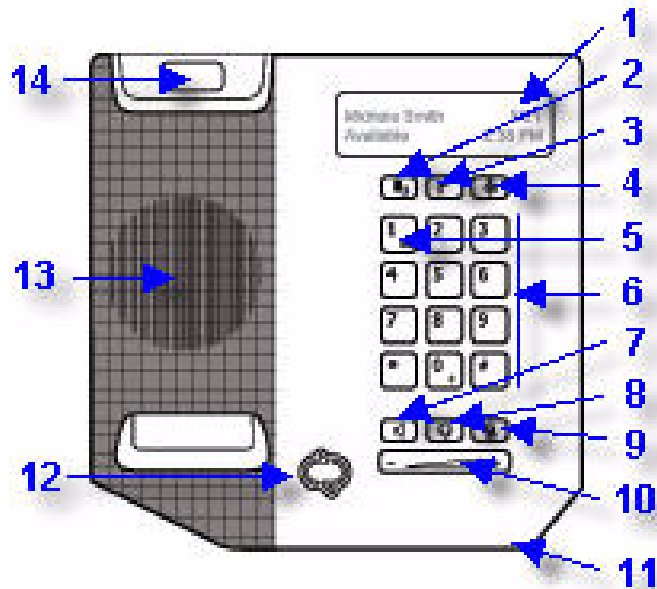
メモ

Polycom CX300 は、バスパワー駆動の USB ハブに接続している場合は機能しません。

電話機の電源投入と同時に、スプラッシュ画面が表示されます。次の図は、その例を示します。



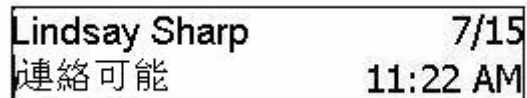
電話機の機能



Polycom CX300 デスクトップ電話機の機能は次のとおりです。

1. **グラフィックディスプレイ** - 通話、メッセージ、時刻、日付などに関する情報、およびその他の関連データを表示します。


次の図は、待機画面の例を示します。











ディスプレイのバックライトは次の場合に点灯します。

- 通話中。
- ダイヤルパッドを使用して電話機の設定を変更しているとき。詳細については、1-8 ページの「電話機の設定の変更」を参照してください。
- Microsoft Office Communicator 2007 R2 と電話機の交信中。
- コンピュータで実行されているアプリケーションと電話機間で音声をストリーム中のとき。

30 秒間操作が行われないと、ディスプレイバックライトはオフになります。

2. **リダイヤルキー**  - 最近ダイヤルした相手をダイヤルします。

3. **保留キー**  - アクティブな通話を保留するか、保留した通話を再開します。
また、**保留キー**を押しても、通話を終了する前に入力した電話番号をクリアするか、2つのアクティブ通話間で切り替えることができます。
4. **削除キー**  - 表示されたデータを削除するか、着信を拒否します。
5. **留守電通知インジケータ**  - 新しい不在着信メッセージがあることを示します。
6. **ダイヤルパッド** -12 個のキーで、状況依存のアプリケーションにおいて 10 個の数字、26 文字のアルファベット文字、および特殊文字を入力できます。
7. **スピーカフォンキー**  - 通話中にハンズフリーの通信を可能にします。
8. **ヘッドセットキー**  - 接続されたヘッドセット (オプションのアクセサリ) を介して通話を発信および受信できるようにします。
9. **マイクミュートキー**  - 通話中に相手にこちら側の音声がかた聞こえないように、こちらのマイクをミュートします。
10. **音量キー**  - 通話中はハンドセット、スピーカフォン、ヘッドセットスピーカの音量の調節に、通話中でない場合は着信音の音量の調節に使用します。
11. **スピーカマイク** -ハンズフリーの通話中に音声を集音します。
12. **プレゼンスステータスインジケータ**  - プレゼンス状態を示します。
13. **スピーカ** - 着信音とハンズフリー音声出力用です。
14. **フックスイッチ**

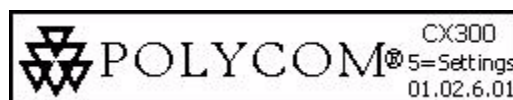
電話機を使用する前に

電話機の設置場所

電話機は、コンピュータの近くで、換気の良い、平坦で水平かつ清潔で乾燥した場所に設置します。

Microsoft Office Communicator 2007 R2 との接続

電話機に接続している USB をコンピュータに接続すると、CX300 のスプラッシュ画面が表示されます。



ご使用のコンピュータで Microsoft Office Communicator 2007 R2 が実行されていない場合、または正しいバージョンが実行されていてもサインインしていない場合は、[サインイン]画面が表示されます。



ご使用のコンピュータで実行中の Microsoft Office Communicator 2007 R2 が古いバージョンの場合は、[アップグレード]画面が表示されます。システム管理者にお問い合わせください。



Polycom CX300 デスクトップ電話機で使用する Microsoft Office Communicator 2007 R2 の設定

電話機を使用する前に、電話機との間で音声の送受信ができるように、Microsoft Office Communicator 2007 R2 の音声設定が適切に設定されていることを確認する必要があります。

Microsoft Office Communicator 2007 R2 の検証や設定を行うには、次の手順に従います。

1. Microsoft Office Communicator 2007 R2 アプリケーションを起動します。
2. Microsoft Office Communicator 2007 R2 のタイトルバーの左上隅の下向き矢印をクリックします。

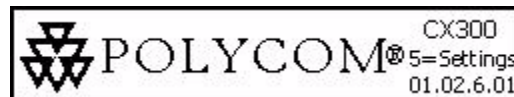
3. [ツール] を選択し、[オーディオとビデオの設定 ...] をクリックし、「音声およびビデオデバイスの設定」ウィザードの手順に従います。
 - a ウィザードの [ハンドセットまたはヘッドセット] 設定ページで、[スピーカ] および [マイク] デバイスオプションが両方とも [Polycom CX300] に設定されていることを確認します。[次へ] をクリックします。
 - b [スピーカ/マイクまたはスピーカフォン] デバイスオプションが両方とも [Polycom CX300] に設定されていることを確認します。スピーカおよびマイクを適切に選択するには、上のテキストボックスで [カスタム] を選択する必要があります。[次へ] をクリックします。
 - c コンピュータ側の着信音やその他の音声は Polycom CX300 のイヤホンから出力されるようにするには、[サウンド] 設定ページのデバイスとして Polycom CX300 を選択します。それ以外は、PC の音声出力デバイスを選択してください。
 - d [完了] をクリックしてウィザードを終了します。

メモ

システム管理者に連絡し、アカウントがエンタープライズ ボイス モードに設定されていることを確認する。

電話機の設定の変更

電話機の音量とテキスト表示の設定を変更できます。これらの設定は、起動時に電話機に表示されるスプラッシュ画面に "5=settings" が表示されているときにアクセスできます。"5=settings" は 10 秒間表示されます。



メモ

Microsoft Office Communicator 2007 R2 の言語設定が英語ではない場合、"5=settings" はスプラッシュ画面に表示されません。ただし、スプラッシュ画面表示の最初の 10 秒間にダイヤルパッドキーの [5] を押せば、電話機の設定にアクセスできます。

前のメニューに戻ったり、電話設定メニューを終了するには、[*] ダイヤルパッドキーを押します。

警告

電話機の設定を変更する際には、Microsoft Office Communicator 2007 R2 を実行中のコンピュータから電話機を取り外さないでください。データの破損につながる場合があります。

この項には次の手順が含まれます。

- [音量キー応答速度](#)
- [通話音量設定](#)

- テキストサイズの設定

音量キー応答速度

音量キー応答速度により、ユーザーがキーを押してから応答する速度、およびユーザーがキーを押したことで実際に電話機の音量が増大または減少する速度が設定されます。

音量キー応答速度の設定を変更するには、次の手順に従います。

1. 起動時に [5] ダイアルパッド キーを押した後、デバイス設定を続行するには [1] キーを押し、更に [1] をもう一度押して設定作業を続けます。
2. [1] ダイアルパッド キーを押して音量キーを設定します。
"You can adjust the rate at which the volume will increase or decrease when holding down the volume buttons." というメッセージが表示されます。
メッセージを最後まで読むには、[1] キーを押し続けます。
3. 音声キー応答速度を選択します。
有効値は 1 (低速)、2 (標準)、3 (高速) です。
4. "Use the <your choice of> volume button response rate? YES (1) Cancel (*)" というメッセージが表示されたら、適切なキーを押します。
[1] キーを押すと、音声キー応答速度が保存されます。
5. [*] キーを押して終了します。

通話音量設定

音量は、次の 2 つのレベルのいずれかに設定できます。

- システム デフォルト レベル
- 前の通話で使用されたレベル

通話の音量設定を変更するには、次の手順に従います。

1. 起動時に [5] ダイアルパッド キーを押した後、デバイス設定を続行するには [1] キーを押し、更に [1] をもう一度押して設定作業を続けます。
2. [2] キーを押してその他のオプションを表示し、[1] ダイアルパッド キーを押して通話の音量を設定します。
"You can restore volume to default, or preserve volume level from your last call." というメッセージが表示されます。
メッセージを最後まで読むには、[1] キーを押し続けます。

3. 前の通話の音量レベルを保存するには [1] を、デフォルト レベルにするには [2] を押します。

"Each call starts with <your choice of> volume level." というメッセージが表示されます。

4. [*] キーを押して終了します。

テキストサイズの設定

ほとんどの言語で 2 つのフォントサイズがサポートされています。

- 標準サイズ
- 大きいサイズ (出荷時のデフォルト)

メモ

テキストサイズの設定は、日本語、中国語、韓国語、ヘブライ語、タイ語、アラビア語、およびヒンディ語 (デバナーガリ文字) 以外のすべての言語に適用されます。

表示テキストのサイズを変更するには、次の手順に従います。

1. 起動時に [5] ダイアルパッド キーを押した後、デバイス設定を続行するには [1] キーを押し、更に [1] をもう一度押して設定作業を続けます。
2. [2] キーを 2 度押してから、[1] ダイアルパッド キーを押してテキストサイズの設定を表示します。

"Text can be displayed in two sizes for some languages. This is normal size text. This is large." というメッセージが表示されます。

メッセージを最後まで読むには、[1] キーを押し続けます。

3. 標準サイズを選択するには [1] キーを、大きいサイズを選択するには [2] キーを押します。

"<Your choice> size text selected." というメッセージが表示されました。

4. [*] キーを押して終了します。

使用上のガイドライン

Microsoft Office Communicator 2007 R2 のメニュー内の移動、データの入力、および使用手順については、Microsoft Office Communicator 2007 R2 のヘルプおよびマニュアル (<http://office.microsoft.com/en-us/communicator/FX102920241033.aspx>) を参照してください。

電話機の基本機能の使用

Polycom CX300 電話機は、通常のハンドセットと同様に使用できるようにデザインされています。通話の発信または応答には、電話機か、Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントウィンドウを使用します。

Polycom CX300 電話機と Microsoft Office Communicator 2007 R2 をインストールして設定すると、緊密に統合されます。Microsoft Office Communicator 2007 R2 を使用する場合は常に、音声の入出力は、Polycom CX300 電話機のハンドセットまたはスピーカフォン（または接続されたオプションのヘッドセット）を介して行われます。

発信、応答、保留など、通話の処理のためのすべての操作は Polycom CX300 電話機で実行されます。また、Polycom CX300 電話機のキーと Microsoft Office Communicator 2007 R2 デスクトップクライアントを併用して行う操作もあります。

この章では、Polycom CX300 の基本的な操作手順について説明します。この章には次の手順が含まれます。

- [通話の発信](#)
- [通話の応答](#)
- [通話の終了](#)
- [リダイヤル](#)
- [マイクのミュート](#)
- [音量の調整](#)
- [通話の保留](#)
- [通話の着信転送](#)
- [ボイスメールの使用](#)

この章では、次のことに関する情報も提供します。

- [Microsoft Office Live Meeting](#) での電話機の使用
- [言語の変更](#)
- [電話機の再起動](#)

電話機の問題のトラブルシューティングについては、[3-1](#) ページの「[電話機のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

このガイドでは、Microsoft Office Communicator 2007 R2 とともに Polycom CX300 電話機を使用する方法についてのみ説明します。Office Communicator 2007 R2 の使用法の詳細については、Microsoft のマニュアルを参照してください。

新しい電話機について追加の情報またはサポートが必要な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

通話の発信

Polycom CX300 電話機を使用して、通話を発信するには、ハンドセットを置いたまま、または手に持った状態でダイヤルパッドを使用して番号をダイヤルします。

通話中に、**スピーカフォンキー**または**ヘッドセットキー**を押すか、ハンドセットを取り上げると、ハンドセットモード、ヘッドセットモード、スピーカフォンモードの切り替えができます。ハンドセットを使用している場合は、ハンドセットを置く前に、**スピーカフォンキー**または**ヘッドセットキー**を押します。スピーカフォンまたはヘッドセットを使用している場合は、ハンドセットを持ち上げるだけで切り替えることができます。

アクティブな通話の通話時間は、ローカルにある通話タイマーを使用してモニターされます。この通話時間は、グラフィックディスプレイ上のアクティブな通話のウィンドウ内に表示されます。下の図では、Sarah Smith への通話は現時点まで 2 分 20 秒かかっています。

Smith, Sarah	0:02:20
Human Resources Coordina...	

メモ

緊急用電話番号への発信については、システム管理者にお問い合わせください。

国際通話を発信するには、[+] キーを押します。[0] キーを 1.5 秒間押します。国際ダイヤルの [+] が表示されるためには、[0] キーが最初に 1.5 秒間押した数字である必要があります。Microsoft Office Communicator 2007 R2 では、外国の電話番号をダイヤルするために必要なアクセス番号によって [+] が置き換えられます。

ダイヤルルールが Microsoft Office Communicator 2007 R2 用に設定されている場合は、電話機にも同じルールが適用されます。

ハンドセットを使用して通話を発信するには、次の手順に従います。

- ▶ 次の手順を順不同で実行します。
 - － ハンドセットを取ります。
 - － 目的の番号をダイヤルパッドを使用してダイヤルします。番号がグラフィックディスプレイに表示されます。

電話番号を入力:
2033

番号の入力が終了すると、その番号が自動的にダイヤルされます。すぐにダイヤルアウトするには、番号を入力してから [#] キーを押します。

ハンドセットを手に持ってダイヤル中に再生されるダイヤルトーンには、長いトーンと短いトーンがあります。スピーカで音声ストリーミングされていない場合は、ダイヤルトーンが長くなり、スピーカが別のアプリケーションまたは音声のストリーミングに使用されている場合は、ダイヤルトーンが短くなります。

メモ

ハンドセットを手に持ってダイヤル中の場合は、(削除キーを複数回押す代わりに) **保留キー**を押すと電話番号全体が削除されます。

ハンドセットを置いたままダイヤル中の場合は、**保留キー**を押すと待機画面に戻ります。

スピーカフォンを使用して通話を発信するには、次の手順に従います。**メモ**

スピーカフォンは、デフォルトの音声デバイスです。ただし、ヘッドセットなど、別のデバイスを手動で選択すると、電話機ではユーザーによる選択が記憶されます。

- ▶ 次のいずれかの手順を実行します。
 - a** ハンドセットを置いたままで、[**スピーカフォン**] キーを押します。
ダイヤルトーンが聞こえたら、目的の番号を入力します。
 - b** 目的の番号をダイヤルパッドを使用してダイヤルします。
[**スピーカフォン**] ソフトキーを押します。

ヘッドセットを使用して通話を発信するには、次の手順に従います。

- ▶ 次のいずれかの手順を実行します。
 - a オプションであるヘッドセットが接続されている状態で、ダイヤルパッドを使用して目的の番号をダイヤルします。
[ヘッドセット] ソフトキーを押します。
 - b [ヘッドセット] ソフトキーを押します。
ダイヤルトーンが聞こえたら、目的の番号を入力します。

通話の応答

音声通話を受信する際、コンピュータ画面の右下隅に Microsoft Office Communicator 2007 R2 の音声ポップアップ通知が表示されます。このポップアップ通知には、通話を受け入れるかどうかの判断に役立つ発信者のコンテキスト情報が表示され、通話を処理するためのさまざまなコントロールも使用できます。

通知のポップアップが表示されたら、次の操作ができます。

- Polycom CX300 電話機または Microsoft Office Communicator 2007 R2 を使用して通話に応答できます。
- **削除キー**を押して、通話を拒否できます。設定により、通話がボイスメールに送信される場合と、通話を接続できないというメッセージを通話者が受信する場合があります。

その他の操作を行うには、Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントウィンドウでそれらの操作を実行します。これらの操作としては、インスタントメッセージによる応答、プレゼンスステータスの「応答不可」(今後 30 分間)への設定、他の電話番号、デバイス、ボイスメールへの通話の転送などがあります。

受信通話に応答するには

1. 次のいずれかの手順を実行します。
 - a 通知内の発信者の名前または電話番号をクリックするか、**スピーカフォンキー**を押して、Polycom CX300 のスピーカフォンで応答します。
 - b ハンドセットを取ります。
 - c (オプション) **ヘッドセットキー**を押して、ヘッドセットを使用して応答します。

通話の終了

通話を終了するには、次の手順に従います。

- 次のいずれかの手順を実行します。
 - － ハンドセットを置きます。
 - － スピーカフォンを使用している場合、[スピーカフォン] キーを押します。
 - － オプションのヘッドセットを使用している場合、[ヘッドセット] キーを押します。

リダイヤル

最後の発信通話は次のいずれかです。

- 電話機で完了したばかりの通話
- Microsoft Office Communicator 2007 R2 を使用して完了したばかりの通話
- 番号は電話機に入力したが、失敗した通話
- Microsoft Office Communicator 2007 R2 を使用して入力したが、失敗した通話

メモ

最後の通話に関する情報は、電話機が接続されているコンピュータに保存されます。1つのコンピュータから電話機を取り外して、Microsoft Office Communicator 2007 R2 を実行中の別のコンピュータに接続し、リダイヤルキーを押すと、2番目のコンピュータに存在する情報に基づき、最後の発信先の番号が電話機によってリダイヤルされます。

最後に発信した通話先をリダイヤルするには、次の手順に従います。

- リダイヤルキーを押します。

リダイヤルキーを押しても、以前に通話を発信していない場合は、電話機は応答せず、メッセージも表示されません。

マイクのミュート

通話中に **[マイク ミュート]** キーを押します。このキーの LED が点灯すると、相手にこちら側の声が伝わらなくなります。

マイクのミュートは、ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンを使用した通話に適用されます。ミュートがオンになっている間でも、他のすべての参加者の通話を聞くことができます。

マイクのミュートをオフにするには、**[マイク ミュート]** キーを再び押します。

音量の調整

スピーカフォンによる通話中、**[音量]** キーを押すとスピーカの音量を調整できます。

ハンドセットによる通話中、**[音量]** キーを押すとハンドセットの音量を調整できます。

ヘッドセットをによる通話中に、**[音量]** キーを押すとヘッドセットの音量を調整できます。

通話中でない場合に **[音量]** キーを押すと、呼び出し音の音量が調整できます。

通話の保留

通話中、通話を保留にすることができます。通話中に別の着信があった場合、**[保留]** キーを押すと最初の通話が保留され、2 番目の通話に応答できます。通話中に別の通話がすでに保留されている場合、**[保留]** キーを押すと、アクティブな通話が保留になり、前に保留されていた通話に戻ることができます。複数の通話が保留されている場合は、**[保留]** キーを押すことによりそれらの通話を繰り返し表示することができます。

同時にすべての通話を保留するには、コンピュータ上で実行されている Microsoft Office Communicator R2 を使用する必要があります。

通話を保留するには、次の手順に従います。

- **[保留]** キーを押します。

通話を再開するには、もう一度 **[保留]** キーを押します。

メモ

保留機能を使用すると、通常、音楽またはビーブ音が発生するため、会議通話は保留にしないでください。

通話の着信転送


すべての着信通話を他の関係者に転送するように Microsoft Office Communicator 2007 R2 を設定できます(「静的転送」)。

他者への通話転送機能を有効にするには、次の手順に従います。

1. Microsoft Office Communicator 2007 R2 ウィンドウで、自分の名前の右側にある [転送] アイコンを選択します。
2. [転送] 画面で、適用する転送ルールを選択します。
3. 他の連絡先または電話番号に転送する場合は、転送先の連絡先名を選択し、[OK] をクリックします。
4. [転送] 画面で [OK] をクリックします。

ボイスメールの使用

ボイスメールは、中央管理された場所に保存され、ユーザの電話からアクセスできます。

新しいボイスメールメッセージの有無は Polycom CX300  の留守電通知インジケータで確認できます。

メモ

この機能を使用するには、Microsoft Exchange 2007 サーバーへのアクセス権を持っている必要があります。システムによってはボイスメールがサポートされない場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

ボイスメッセージを聞くには、次の手順に従います。

1. [1] ダイヤルパッドキーを 1.5 秒間押します。
2. PIN 番号を求められたら、ダイヤルパッドを使用して番号を入力します。
ボイスメールアクセス機能は、最初に PIN 番号を割り当てたシステム管理者が設定します。

Microsoft Office Live Meeting での電話機の使用

電話機は、Microsoft Office Live Meeting (およびその他のサードパーティ製アプリケーション) で音声デバイスとして使用できます。

Microsoft Office Live Meeting の音声デバイスとして Polycom CX300 電話機を使用する場合、次のことに注意する必要があります。

- 実際のストリーミング中には、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンのグラフィックが表示され、どの音声デバイスがアクティブであるかを示します。ただし、スピーカフォンまたはヘッドセットキーの LED はオンになりません。
- Microsoft Office Communicator 2007 R2 の電話機を同時に使用できます。Microsoft Office Communicator 2007 R2 では、通話に対してデフォルトの音量レベルを設定してある場合でも、着信通話のトーンの音声のストリーミングについて設定した音量レベルが使用されます。
- マイクのミュートキーを押すことにより、自分自身をミュートすることはできません。Polycom CX300 電話機と Microsoft Office Live Meeting のミュートコントロールは、それぞれ独立しています。Microsoft Office Live Meeting をミュートするには、コンピュータ上の Microsoft Office Live Meeting のミュートコントロールを使用する必要があります。

電話機で Microsoft Office Live Meeting がストリーミング中の場合に電話機を使用して通話を発信するには、次の手順に従います。

- スピーカフォンキーを押して、電話機をオフフックにし、通話を発信します。

電話機がすでにオフフックの場合、スピーカフォンキーを再度押すと、電話機がオンフックになり、再び音声デバイスに戻ります。ヘッドセットキーを押したり、ハンドセットを持ち上げた場合も同じ処理が適用されます。

言語の変更

ご使用の電話機では、Microsoft Office Communicator 2007 R2 複数言語ユーザーインターフェースパッケージによりサポートされる 38 すべての言語、および言語混合の表示がサポートされています。この機能の組み合わせは、Microsoft Office Communicator 2007 R2 の言語設定が Windows の地域設定と異なる場合に役立ちます。電話機の日付 / 時刻の表示は、オペレーティングシステムの設定に従っているからです。

たとえば、Microsoft Office Communicator 2007 R2 が「タイ語」に設定されていて、Windows オペレーティングシステムが英語の場合は、日付と時刻 (英語) を除き、電話機のディスプレイに表示される情報はタイ語になります。

電話機では、Microsoft Office Communicator 2007 R2 で最後に使用された言語が記憶されますが、デフォルトでは英語が使用されます。

Microsoft Office Communicator 2007 R2 の言語を選択するには、次の手順に従います。

1. Microsoft Office Communicator 2007 R2 の複数言語ユーザーインターフェイスがコンピュータにインストールされていることを確認します。
2. Microsoft Office Communicator タイトルバーの左上隅で下方向矢印をクリックし、[ツール] をクリックしてから、[オプション] をクリックします。
3. [全般] タブを選択し、[言語] のドロップダウンリストから言語を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. Microsoft Office Communicator 2007 R2 を閉じて終了します。
6. Microsoft Office Communicator 2007 R2 を再起動します。

電話機のディスプレイに手順3で選択した言語のテキストが表示されます。

電話機の再起動

まれに電話機に問題が発生して再起動しなければならないことがあります。再起動する前にシステム管理者に問い合わせてください。

電話を再起動するには、次の手順に従います。

- 電話機のコードをコンピュータから取り外し、もう一度接続します。再起動が開始します。

電話機のトラブルシューティング

この章では、問題、考えられる原因、その対策について説明します。問題は次のように分類できます。

- [電源と起動](#)
- [制御、通話の発信と受信](#)
- [システムへのアクセス](#)
- [音声](#)
- [Microsoft Office Communicator 2007 R2](#)

この章の説明を読んでも問題が解決しない場合には、システム管理者にお問い合わせください。

電源と起動

症状	問題	対策
通電の問題がある。	Polycom CX300 電話機に電力供給がない。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源を入れたときにユニットのライトがまったく点灯しないことを確認する。 • USB ポートから電力が供給されていることを確認します。 • 別の USB ポートに電話機を接続して電力が正常に供給されるか確認します。 <p>メモ： 電話機は、バスパワー駆動の USB ハブに接続している場合は機能しません。</p>
ハンドセットには問題はないが、ハンドセットと Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアント間の通信ができない。	Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントソフトウェアか Microsoft Office Communications Server 2007 ソフトウェアに問題がある可能性がある。	システム管理者に連絡し、自分のアカウントが正しく設定され、Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントソフトウェアと Microsoft Office Communications Server 2007 ソフトウェアが適切にインストールおよび設定されていることを確認する。

制御、通話の発信と受信

症状	問題	対策
Polycom CX300 のキーを使用しても、説明どおり通話を制御できない。	Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントや Microsoft Office Communications Server 2007 のアカウントが正しく設定されていない可能性がある。	システム管理者に連絡し、アカウントがエンタープライズ ボイス モードに設定されていることを確認する。
	コンピュータの USB ポートが正しく機能していない可能性がある。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • Polycom CX300 電話機をコンピュータの別の USB ポートに接続します。 • Polycom CX300 電話機をコンピュータから取り外し、コンピュータを再起動したら、Polycom CX 300 電話機を別のポートに差し込みます。
発信できない。	電話機の接続先のコンピュータがロックされている。	電話機の機能のルールを変更することについて、システム管理者に問い合わせる。
通話着信時に着信音が鳴らない。	電話機は Microsoft Office Communicator 2007 R2 から音声を再生するように設定されていない。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • スピーカフォンから音を聴こうとしている場合、ハンドセットがオンフックであることを確認する。 • スピーカが十分聞こえる音量に設定されていることを確認します。 • 電話がスピーカおよびマイクのデバイスとして電話機が選択されていることを確認する。詳細については、1-7 ページの「Polycom CX300 デスクトップ電話機で使用する Microsoft Office Communicator 2007 R2 の設定」を参照してください。 • スピーカがコンピュータ上でミュートに設定されていないことを確認する。 • デフォルトの再生設定を変更した場合は、Microsoft Office Communicator 2007 R2 を再起動する必要がある。

システムへのアクセス

症状	問題	対策
キーを押しても反応がない。	Polycom CX300 電話機がアクティブな状態ではない。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> キーをゆっくり押ししてみる。 その電話機に通話を発信し、着信通話のディスプレイと呼び出し音が正常であるかどうかを確認する。
電話機がすでにコンピュータに接続されているのに、"Sign in..." または "Please Upgrade" というメッセージが表示される。	コンピュータに Microsoft Office Communicator 2007 R2 がインストールされていないか、Polycom CX300 電話機をサポートしていない Microsoft Office Communicator 2007 のバージョンがインストールされています。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> コンピュータに正しいバージョンの Office Communicator 2007 R2 がインストールされていることを確認する。 Microsoft Office Communicator 2007 R2 にサインインしていることを確認する。 ネットワーク接続がアクティブであることを確認する。 <p>メモ: Microsoft Office Communicator 2007 R2 がインストールされていない場合は、Polycom CX300 電話機は音声デバイスとしてのみ使用できます。</p>

音声

症状	問題	対策
Polycom CX300 ハンドセットで音声が聞こえない。	Microsoft Office Communications Server 2007 のアカウントが適切に設定されていない可能性がある。	システム管理者に連絡し、アカウントがエンタープライズ ボイス モードに設定されていることを確認する。
ヘッドセットで音声が聞こえない。	ヘッドセットが適切に接続されていないか、オンになっていない。音量が低すぎる。	ヘッドセットが適切に接続されていることを確認する。ヘッドセット用のアンプ (アンプが必要なヘッドセットの場合) がオンになっているかどうか、音量が適切かどうかを確認する。電話が Microsoft Office Communications Server 2007 にログインしていることを確認する。
	ハンドセットがサポートされるヘッドセットの1つではない。	ヘッドセットが「Support Headsets for Polycom CX Phones」(http://www.polycom.com/global/documents/support/technical/products/voice/CX200_700_Headset_Compatibility.pdf) にリストされていることを確認する。

症状	問題	対策
スピーカフォンキーを押しても反応がない。相変わらずヘッドセットのイヤホンから音声聞こえる。	Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントの音声設定が正しくない。	スピーカの音声がコンピュータのスピーカから出るように、Microsoft Office Communicator 2007 R2 の音声設定を調整する。詳細については、1-7 ページの「 Polycom CX300 デスクトップ電話機で使用する Microsoft Office Communicator 2007 R2 の設定 」を参照してください。
電話機を音声デバイスとして使用していないときに、ディスプレイに音声グラフィックが表示される。	開いた Web ページ、または背景で実行されているアプリケーションがメディアを電話機にストリーミングしているか、ストリーミングインターフェースが選択されている可能性がある。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 音声グラフィックを無視する。 Web ページを閉じるか、アプリケーションをシャットダウンする。

Microsoft Office Communicator 2007 R2

症状	問題	対策
Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントが正しく動作しない。	Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントソフトウェアか Microsoft Office Communications Server 2007 に問題がある可能性がある。	システム管理者に連絡し、自分のアカウントが正しく設定され、Microsoft Office Communicator 2007 R2 クライアントソフトウェアと Microsoft Office Communications Server 2007 ソフトウェアが適切にインストールおよび設定されていることを確認する。

安全に関する通知

サービス規約

製品に適用されるサービス規約の詳細については、Polycom 正規販売店にお問い合わせください。

準拠法

この限定保証および責任の限定は、米国カリフォルニア州および米国の法律に準拠します。ただし、国際私法の原則は排除されます。" 国際物品売買条約に関する国連条約 " は、この限定保証および責任の限定に適用されないものとしします。

国際および汎米著作権条約に基づき無断複写・転載を禁じます。Polycom, Inc の書面による同意なしに、本書の内容の全体または一部を複写、複製、送信、他言語に翻訳、または他形式に変換することは、その形式または方法を問わず、これを禁じます。ユーザーまたはその依頼を受けた第三者が、製品の識別情報、著作権表示、その他の通知を削除することは禁じられています。

限定責任

限定責任。法律の及ぶ限り、Polycom および供給者に対して契約や (過失を含む) 不法行為、あらゆる偶発的、必然的、間接的、特殊または懲罰的損害賠償金、収益または利益の損失、取引上の損失、情報またはデータの損失、販売に生じまたは関連したその他の経済的損失、製品のインストール、保守、利用、パフォーマンス、故障または障害において責任を負わないものとしします。これは、Polycom および正規販売店が以上のような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Polycom の裁量により、修理、交換、購入金額の払い戻しをする責任を限定できることとなります。損害への責任に対する免責条項は、この中で明記されたいかなる救済手段が本来の目的を達成できなかったとしても、何ら影響を与えるものではありません。

Polycom の限定保証および限定責任

限定保証。Polycom はエンドユーザー（顧客）に対し、Polycom または正規販売店から製品を購入した日付より 1 年間、通常の使用およびサービスにおいて本製品およびその材料に欠陥がないことを保証します。

Polycom はここで明示された保証に基づき、Polycom の選択と負担により、欠陥製品または部品を修理し、欠陥製品と交換するのに相当する製品または部品を顧客に発送する義務があります。いずれの選択も提供できない場合、Polycom は独自の裁量により、欠陥製品の購入金額を顧客に支払うものとし、交換される製品はすべて Polycom の所有となります。製品あるいは部品の交換には新品または再生部品が使用されます。

Polycom は、交換または修理した製品や部品について、発送日より 90 日間または最初の保証期間の残存期間のいずれか長い方の期間保証するものとし、Polycom に製品を返却する場合は、適切に梱包して運賃前払いで安全に返送する必要がある、保険付きまたは荷物の追跡が可能な方法で発送することを推奨します。Polycom は、返却した製品を受領するまでの過程で生じた損失や損害に対する責任を負いません。修理または交換する製品はポリコムが欠陥製品を受け取ってから 30 日の期間内にポリコムの負担で顧客に発送されます。製品の損害に対するリスクは、顧客の手元に届くまでポリコムが保持します。

製品のソフトウェアに、アップデート（マイナーリリース / バグ修正）が提供される 90 日間のソフトウェア保証が付いています。サポートを継続して受けるには、もっとも経済的な方法として保守契約の購入をお勧めします。

免責事項

テストおよび検査の結果、製品の欠陥または故障が次の理由である場合、Polycom は上記の保証の制限に基づく責任を負わないものとし、

- Polycom のインストール、操作、保守の説明に従わなかった場合
- 不正に製品を変更または改変した場合
- 製品を通じて不正に専用線通信サービスへアクセスした場合
- 顧客および顧客の管理下にある個人の不正使用、悪用、過失行為、削除を行った場合
- サードパーティによる行為、天災、事故、火事、落雷、変電、停電、その他の被害にあった場合

保証の例外事項

ポリコムの製品で上記に規定された保証が実施されなかった場合、顧客は保証の不履行についてポリコムに製品の修理、交換、購入金額の払い戻しを請求することができます。法律の及ぶ限り、上記の保証および救済は限定的であり、明示または暗示されたその他の保証、条項、条件において、商品性の保証、条項、条件、いかなる目的に対する適合性、満足のゆく品質、保証内容との一致、無侵害性に代わるものとし、すべては明示的に放棄するものとし、Polycom は、製品の販売、インストール、保守、利用に関する法的責任を他者に負わせたり、委任したりすることはありません。

安全および準拠に関する情報

使用とクリーニング

- この指示に従って使用してください。
- 熱源の近くでは使用しないでください。
- Polycom 指定の付属品のみを使用してください。
- クリーニングには乾いた布のみを使用してください。

操作環境

この装置は、+41°F (+5°C) ~ +95°F(+35°C) で動作する商品です。

電気保安に関する警告

Polycom CX300 の設定、使用、および取り扱いを正しく行わなかった場合、Polycom CX300 の破損のリスクが増大する可能性、または重傷を負う可能性があります。個人の安全を確保するためには、この製品は NRTL 認証 (UL、CSA、ETL など) または CE マーク付きの情報技術機器とともに使用する必要があります。

警告: この装置は、電源が切れた場合や、広帯域インターネットアクセスが中断した場合には使用できなくなることがあります。

Polycom による明示的な承認なしに変更や改ざんを行った場合、この機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

使用可能な部品は含まれていません。



分別回収システムのある欧州連合および他の諸国における廃電気電子機器の処分

製品またはそのパッケージにこのシンボルが付いている場合、その製品は家庭廃棄物とともに処分してはならないことを意味します。電気電子機器のリサイクルのために適切な収集場所に引き渡す責任は、個々のユーザーにあります。この分別回収およびリサイクルは、自然資源の節約につながるだけでなく、不正な処分によって電気電子機器に含まれる可能性のある有害物質が健康や環境にマイナス影響を及ぼすことを防ぐことができます。廃電気電子機器を届ける場所の詳細については、最寄の市役所または自治体、家庭廃棄物処理業者、またはこの製品をお買い上げになった店にお問い合わせください。WEEE の詳細については、http://ec.europa.eu/environment/waste/weee/index_en.htm を参照してください。

FCC 規則第 15 部クラス B

この製品は、米国連邦通信委員会 (FCC) 規則のパート 15 に基づきテストされ、クラス B デジタル機器の制限に準拠することが認められており、次の条件が適用されます。有害な電波障害を引き起こさない。

Canada ICES-003

誤動作の原因となる電波障害を含め、受信した電波障害を許容しなければならない。

このクラス B デジタル機器はカナダ ICES -003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

機械、医療、または産業アプリケーション用ではありません。

CE

この Polycom CX300 には、CE マークが付いています。このマークは、EEC 指令 89/336/EEC と 2006/95/EEC に準拠していることを示します。適合宣言の完全なコピーを取得するには、Polycom Ltd (270 Bath Road, Slough, Berkshire, SL1 4DX, UK) までお問い合わせください。

索引

M

- Microsoft Office Communicator 2007 R2
 - アップグレード 1-7
 - 音声設定 1-7
 - 言語の変更 2-8
 - サインイン 1-7
- Microsoft Office Communicator 2007 R2 の設定 1-7
- Microsoft Office Live Meeting
 - 電話機、音声デバイスとして使用 2-8

U

- USB 接続 1-4

お

- 音量の調整 2-6

き

- 機能
 - リスト 1-5

さ

- サポートされる言語 2-8

し

- 使用ガイドライン 1-10

す

- スピーカフォン
 - 通話の発信 2-2, 2-3
 - 通話への応答 2-4

ち

- 調整、音量 2-6

つ

- 通話
 - 応答 2-4
 - 終了 2-5
 - スピーカフォンを使用 2-2
 - 転送 2-7
 - 発信 2-2
 - 番号のリダイヤル 2-5
 - ハンドセットの使用 2-3, 2-2
 - ヘッドセットの使用 2-2, 2-4
 - 保留状態 2-6
- 通話の終了 2-5
- 通話の着信転送 2-7
- 通話の発信 2-2, 2-8
- 通話の保留 2-6
- 通話への応答 2-4

て

- 電話機
 - USB 接続 1-4
 - 組み立て 1-3
 - コンピュータとの接続 1-4
 - 再起動 2-9
 - 設置場所 1-7
 - 設定 1-8
 - 説明 1-2
 - トラブルシューティング 3-1
 - 入門 1-1
 - ハンドセット 1-3
 - ヘッドセット 1-3
 - ボイスメール 2-7
- 電話機に関する役立つヒント 1-10
- 電話機の組み立て 1-3
- 電話機の再起動 2-9
- 電話機の設定の変更 1-8
- 電話機の配置 1-7

と

- トラブルシューティング
 - 音声の問題 3-3
 - システム問題 3-3
 - 制御問題 3-2
 - 電源と起動の問題 3-1

に

入門 1-1

は

初めての使用 1-7

番号のリダイヤル 2-5

ハンドセット

接続 1-3

通話の発信 2-3

通話への応答 2-4

通話の発信 2-2

ハンドセットの接続 1-3

ふ

部品一覧 1-2

へ

ヘッドセット

接続 1-3

通話の発信 2-2, 2-4

通話への応答 2-4

ヘッドセットの接続 1-3

ほ

ボイスメール 2-7

ま

マイクのミュート 2-6

マイクをミュート 2-6